

茨城県の地震・風水害に備えるための啓発動画を作成！

～いばらき弁の『さやっち先生』が教える！いばらき講座～

日本損害保険協会 関東支部 茨城損保会（会長：河上 精二あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 茨城支店 理事 支店長）では、県や茨城県地震保険・共済加入促進協議会と連携し、茨城県の自然災害リスクの大きさを認識し、平時から必要な備えをしてもらうために、茨城県出身のウェザーニュースキャスター・檜山沙耶氏が先生となって出演する啓発動画を作成し、当協会ホームページに掲載しました。

茨城県では、今後30年以内に茨城県沖の地震発生の確率が80%程度であること、水戸市で震度6弱以上の地震が発生する確率が81%で全国の県庁所在地で1番高いこと、さらに、最近の線状降水帯等による大雨や台風等の自然災害の状況を踏まえて、常日頃から災害に対する準備が必要な状況となっています。

動画は、「地震編」と「風水害編」の二つに分かれており、いばらき弁の『さやっち先生』と茨城県の意外な日本一や、地名に隠された秘密などを楽しく学びながら、専門家として河上損保会長を迎え、県民の皆様へ大災害への「自助」の大切さを認識してもらえる内容となっております。

「地震編」では、茨城県は他県に比べて、地震の発生確率が高いにも関わらず、地震保険の付帯率が全国平均を下回っている状況や、政府と民間が共同で運営する公共性の高い地震保険の加入方法、万が一被災した場合の保険金の使い方などを学びます。

「風水害編」では、2015年9月の「関東・東北豪雨」により鬼怒川の堤防が決壊するなど県内で甚大な被害を及ぼしたにも関わらず、茨城県の火災保険の水災補償付帯率が47都道府県中45位と非常に低いことや、すまいの保険として火災保険、くるまの保険として車両保険の加入が重要になってくることなど自然災害発生時の経済的な備えについて簡潔に視聴し、学べる内容です。

本動画については、茨城県のホームページでも案内するほか、県主催の「いばらきぼうさい大学」、茨城損保会、茨城県代協の活動を通じて、県民の皆様幅広く周知していきます。

関東大震災から今年で100年目です。過去の教訓を生かしながら、迫りくる災害のリスクを減らすために平時から正しく学び、自分の身は自分で守る心構えが必要です。当支部では引き続き、関係各所と連携し、自然災害による県内の被害が少しでも軽減するよう取り組んでまいります。

<さやっち先生が教える！いばらき講座>



地震編 <https://youtu.be/8KxQHWuC3Xo>



風水害編 <https://youtu.be/J44kMfxLgYg>

